

令和7年度

建設環境委員会行政視察報告書

▶ 視察日程

令和7年11月4日（火）～5日（水）

▶ 視察先

11月4日 神奈川県秦野市

11月5日 愛知県津島市

▶ 視察参加者

【委員】	委員長	村田	丈生
	副委員長	松尾	一生
	委員	金藤	哲夫
	委員	近藤	康夫
	委員	斉藤	マリ子
	委員	永田	憲男

【事務局】 随 行 古 田 真 也

目 次

- 1 神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）
【おいしい秦野の水の取組について】 1

- 2 愛知県津島市（天王川公園）
【天王川公園P a r k - P F I 事業について】 7

- 3 視察を終えて（各委員の所感） 12

神奈川県秦野市

(秦野市上下水道局)

神奈川県秦野市桜町1丁目3番2号

- 1 視察日時 令和7年11月4日(火)
午後2時30分～午後4時00分
- 2 視察事項 おいしい秦野の水の取組について

3 視察の概要

(1) 秦野市の概要

秦野市は、神奈川県央の西部に位置し、東部は伊勢原市、西部は松田町、大井町、南部は中井町、平塚市、北部は厚木市、清川村、山北町に接している。市域は、東西約13.6キロメートル、南北は約12.8キロメートル、面積は103.61平方キロメートルで、東京からは約60キロメートル、横浜から約37キロメートルの距離にあり、典型的な盆地を形成している。

気候は、太平洋岸気候に属し、降霜・降雪が少なく、冬期は西北西、夏期は南方の風が多くなるが、風速は弱く、比較的温暖。

秦野盆地は、東・北・西の三方を山々に囲まれ、南を更新世末に隆起したなだらかな渋沢丘陵に遮られてできた盆地。秦野市の最高地点は、標高1,490.9メートルの塔ノ岳。最低地点は、鶴巻地区の16.2メートル。

秦野盆地の地質は、基盤が丹沢層群をつくる緑色凝灰岩で、その上に砂礫と降下火山灰等が互層をなして堆積している。盆地内の砂礫は、丹沢山地より盆地の中央部を流れる水無川、盆地の西側を流れる四十八瀬川、東側を流れる金目川等によって運搬堆積し、砂礫層となって複合扇状地の地形を形成している。そのため水無川の流水は、扇頂にあたる大倉付近から伏流水となり、扇端の今泉・平沢付近で湧出している。

市内を流れる河川の多くは、丹沢山塊の稜線の合間から発しており、秦野盆地内には、中央部に塔ノ岳に源を発する水無川が流れ、その東に三ノ塔からの葛葉川、山塊東部のヤビツ峠方面からの金目川が流れている。また、渋沢丘陵の千村に源を発する室川が盆地の南縁に沿って流れ、西部には鍋割山・大倉尾根からの四十八瀬川が流れている。

最新の推計人口(令和8年1月1日)

令和 2 年国勢調査（確定値）に基づく推計人口
総人口 159,748 人 世帯 74,262 世帯
男 80,731 人 1 世帯あたり 2.15 人
女 79,017 人 面積 103.76 平方キロメートル

（2）秦野市の水道水について

秦野市の水道水は緑豊かな丹沢に育まれた「秦野名水」と呼ばれる良質な地下水や水無川や四十八瀬川上流のきれいな河川水を主要な水源としており、一部神奈川県がつくる水道水（県水）を受水している。地下水（原水）は取水場で取水した後、配水場へ、河川水は浄水場を経由し、県水は地下水とブレンドし配水場に蓄えられる。

水道水は、水道法で塩素で消毒することが義務付けられており（原水の中に存在する細菌を退治するため）、水道水の中に含まれる塩素（残留塩素）の必要量を「0.1mg/l 以上」とするよう規定されている。これが多すぎると「カルキ臭」が出て、まずく感じる方が多く、昭和 60 年に国が示した「おいしい水」の要件では、「残留塩素濃度が 0.4mg/l 以下」としている。

配水場から各家庭までの配水管の距離はそれぞれ違うが、秦野市では、皆様の家庭で「残留塩素濃度を 0.4mg/l」以下とすることを目標とし、配水場で塩素濃度を調整し、毎日濃度を計測している。

秦野の水道水のおいしさの秘密は、水が持つ本来のおいしさを損なわないよう必要最小限の処理を行う徹底した管理体制にある。

（3）「おいしい秦野の水」について

丹沢が育んだ、まろやかな「名水」を詰めた「おいしい秦野の水」。市内外の贈り物として、また、災害時に水道が復旧するまでの備蓄用飲料水としても利用できます。

お茶やコーヒー、水割りのほか、香りを大切に作る料理にも相性ピッタリの軟水です。

インターネットでもご購入いただけます。

「名水百選」選抜総選挙「おいしさ」部門第 1 位

環境省が行った、～名水百選 30 周年記念～「名水百選」選抜総選挙の「おいしさがすばらしい名水部門」で、「おいしい秦野の水～丹沢の雫～」が、全国第 1 位となりました！

市民総ぐるみで守り、育ててきた秦野の地下水の美味しさを全国の方々に評価していただきました。

価格 オープン価格

製品の内容 原材料名：水（水道水）注：羽根地区の地下水を浄水した水道水（地下水 100%）を採水し、製造過程で塩素を除去しています。

栄養成分（100ml 当たり）

- ・エネルギー、タンパク質、脂質、炭水化物：0
- ・ナトリウム：0.66mg
（食塩相当量 0.001g）
- ・カリウム：0.07mg
- ・カルシウム：2.07mg
- ・マグネシウム：0.89mg

pH（ペーハー）：7.4

硬度：89mg/L

内容量：500ml



4 質疑応答

1. 「水道カルテ」（国交省）の公表により、上下水道事業の計画や予算にどのような影響があったか。

→ 「水道カルテ」の公表は、能登半島地震での漏水被害等を踏まえ、国土交通省から管路耐震化の重要性が改めて示されたものと認識しています。本件を踏まえ、本市水道事業では、令和7年度以降の建設改良事業に、施設整備計画外の管路耐震化事業費を追加で計上することとしました。また、本年度実施している上下水道事業計画の後期計画期間の見直しにおいても、施設耐震化の重要性を再認識したうえで計画更新作業を実施しています。

2. 御市における管路経年化率と管路更新率の推移をどのように分析し、評価されているか。

→ 令和6年度における管路経年化率は 35.53 パーセントと、前年度比 4.17 ポイント増となりました。当該値は、令和5年度の経営比較分析表における全国平均値よりも高い水準となっています。一方、令和6年度における管路更新率は、前年度比 0.12 ポイント増の 0.54 パーセントとなりました。当該値は、令和5年度の経営比較分析表における全国平均値と同程度となっています。以上を踏まえると、管路更新を今後さらに加速させていく必

要がありますが、給水収益の減少により、資金が限られている状況にあります。そのため、適切な維持管理を行うとともに、限られた資金の中で効率的かつ計画的な管路更新に努めていかなければならないと考えています。

3. 公務員の退職者増加が問題となっている。特に経験値の高い水道職員が退職すると大きな痛手となる。御市の現状と課題を差し支えない範囲で伺いたい。

→ 水道の安定供給のためには、職員の定年退職に加え、自己都合退職や人事異動にも対応した技術継承を行うことは、重要な課題の一つであると認識しています。その対応策としては、熟練職員による職場内研修を丁寧に、より長く実施するとともに、関係団体が主催する研修を活用し、積極的に参加しているところです。また、退職した水道経験職員を会計年度任用職員として採用し、若手職員の設計上の相談や現場での補助をお願いし、若手職員の育成に努めています。さらに、プロフェッショナルな職員を育成するため、水道事業を長く経験し、整備から維持管理まで一連の流れを学んで活躍し、それを後輩に教えることができるような人員配置を人事管理部署と協議しているところです。

4. おいしい水の評価項目のランク付けの決め方について 「観光地」、「景観」、「秘境地」、「おいしさ」

→ いただいた項目から「名水百選選抜総選挙」を指しているものと推察します。この選抜総選挙は、名水百選の選定 30 周年を記念して、環境省が平成 28 年に実施したものであり、その実施目的は「名水の魅力を再発見・再評価すること」「地域の水資源を観光や文化の面から盛り上げること」「国民の関心を高めて、水環境の保全につなげること」であったと認識しています。単に「おいしい水」だけではなく、その水がある場所の魅力や地域の取り組みも含めて評価することで、名水の価値をもっと広く伝える狙いがあったということではないか、と考えています。

5. 塩素を脱素することによる賞味期間の影響 ※災害時等の保管の短縮とされないか

→ 平成 20 年の製造開始当初から、製造工程において水道水をボトリング前に脱塩素処理及び加熱殺菌処理しており、この工程は変更していません。なお、賞味期限は 2 年間としています。「おいしい秦野の水」の製造目的は市水道事業の PR 及び災害時備蓄としての活用です。災害時備蓄用として賞味期限 2 年は短いとの意見もいただきましたが、今年度から新たな取組として、賞味期限 5 年の長期保存水を数量限定で市備蓄用として製造を開始

しているところです。

6. 製造コストと採算性について。1本あたりの製造コストと販売価格はどのようになっているのか。

→ 令和7年度の500ml通常分の製造単価は税込約75円です。上下水道局は取扱店への卸売をおこなっており、今年度の卸売価格は税込80円としています。販売価格はオープン価格として各取扱店にお任せしています。

7. 販路、需要と供給量について状況を知りたい。

→ 販路について、本年8月末時点で、市内では大型店舗2店舗やコンビニエンスストア9店舗を含め48店舗、市外16店舗、合計64店舗で取り扱っていただいています。その他にも観光協会などでインターネット販売をしていただいているところです。

8. 「おいしい秦野の水」は飲んでもらったの投票結果ですか。

→ 名水百選選抜総選挙の投票結果を指しているものと推察します。総選挙自体は実施元が環境省であるため、投票結果について私共が言及する立場ではありませんが、「おいしさが素晴らしい名水部門」において受賞していることから、投票していただいた方は恐らく飲んでいただいた上で投票されたのではないかと考えます。

9. 学校、病院等公共施設での利用はしていますか。

→ 取扱店としての登録はありませんが、公共施設内に設置する自動販売機におけるペットボトルの取扱について、設置契約時に仕様に記載するよう所管部署に働きかけを行っているところです。

10. 1か月の売り上げはいくらで、1本あたりの利益は。

→ 令和7年9月の売り上げは11,016本、約90万円でした。1本当たりの利益は約5円であり、9月の利益は約5万5千円となります。

11. 配水場での毎日の残留塩素濃度を0.4mg/l以下に保つため、計測した後、どのような方法で調整されているのか。

→ 配水場ではリアルタイムで残留塩素濃度を計測し、調整を行っているところです。また、ペットボトルは原則、採水日当日に製造を行っています。採水地からボトリングする製造工場まで、タンクローリーを用い、一切空気に触れないよう搬送しています。

12. 環境省のおいしさがすばらしい「名水部門」の第1位に選ばれたことを受けて、秦野市の魅力をアピールするために、どのような取り組みをしているのか。

→ 平成28年の受賞を機に、ラベルにロゴを記載、横断幕の作成、特注ポップを取扱店に配布、市広報や各種情報誌への掲載の働きかけなど、大々的にプロモーションを実施しました。販売本数も飛躍的に増加したことから、一定の成果はあったものと考えています



愛知県津島市

(津島市役所・天王川公園)

愛知県津島市立込町2丁目21番地

- 1 視察日時 令和7年11月5日(水)
午後1時00分～午後3時00分
- 2 視察事項 天王川公園Park-PFI事業について

3 視察の概要

(1) 津島市の概要

津島市は濃尾平野の西部、名古屋市の西方約16kmに位置し、昭和22年3月、県下9番目の市として誕生した。津島神社の門前町として、また交通・経済の要衝である湊町として、近世・中世を通じて繁栄してきた。

市内には長い歴史と文化が大切に受け継がれ、600年近く前から続く「尾張津島天王祭」や、国の重要文化財である「堀田家住宅」を始めとする多くの文化財や古い町並みなど、歴史的・文化的遺産に出会うことができる。

津島市ではまた、自然も多く残されている。特に、春の桜、初夏の藤・スイレン、秋の紅葉、冬の雪景色など、津島市の四季を象徴する「天王川公園」の季節の移り変わりは、とても美しい。

基本情報

名称 津島市(つしまし)

総人口 61,146人 (令和3年10月1日現在)

位置 東経136度44分29秒、北緯35度10分37秒

大きさ 東西7.3km、南北7.25km

シンボル 黒松(市の木)

藤(市の花)

白鷺(市の鳥)

(2) 天王川公園について

木曾川の支流である佐屋川に合流する天王川は、江戸時代まで当時のまちの中央を流れていた。現在は市の西部、天王川公園に丸池として残っている。水上交通の要衝として津島の地に大きな繁栄をもたらした天王川公園周辺

は、今日ではその歴史的情緒と自然の豊かさを活かしながら、市民の暮らしに潤いを提供している。とくに公園を彩る四季の移り変わりは美しく、桜、藤、睡蓮、紅葉、雪景色などの風景は、訪れる人の心を和ませている。天王川公園の美しい景観を守り、憩いの場や観光地として広くPRしようと、昭和56年（1981年）に「天王川八景」を選定した。

天王川公園は令和5年4月1日から、指定管理者による公園全体の管理運営を開始した。指定管理者のホームページでは、園内マップやイベント情報を公開している。

○天王川公園の四季

春には公園を囲むようにしてソメイヨシノが咲き誇り、ゴールデンウィーク頃には公園の主役を藤にバトンタッチ、藤棚の近くにはヤエザクラが咲く。初夏からは中之島の橋周辺に睡蓮が咲き、白い可憐な花びらで訪れた人たちを楽しませ、7月下旬には尾張津島天王祭の舞台としてたくさんの人たちでにぎわう。彼岸花が秋の訪れを知らせると、公園一帯が紅葉に包まれる。冬になって雪が降ると、天王川公園はいつもとはまた違った風景を見せてくれる。

○尾張津島藤まつり

市の花にも指定されている藤の花。津島は昔「藤浪の里」と呼ばれていたほど、藤の名所として知られている。中でも天王川公園の藤棚は規模も大きく、その美しさは圧巻。

津島の藤を満喫できるのが、毎年4月の中旬から下旬に天王川公園で行われる「藤まつり」。長さ275メートル、面積5034平方メートルにも及ぶ藤棚の下、爛漫と咲く藤の姿とその甘い香りが楽しめる。また、期間中の夜にはライトアップも行われ、疏水を染める藤の群房は、幻想的で雅な世界を彩る。

○尾張津島天王祭

日本三大川祭りの一つに数えられ、津島神社の祭礼である天王祭。長い歴史を持つお祭りは、永禄3年（1560年）の桶狭間の戦いの2年前、織田信長が夫人同伴で、朝祭あさまつりを見物した記録がある。

祭礼は7月第四土曜日の「宵祭よいまつり」と、翌日曜日の「朝祭」の順に行われる。宵祭の見どころは、500個以上もの提灯を飾り天王川の水面にその姿を映す5艘の「まきわら船」。朝祭では、能人形の置物を戴いた祭船が古楽を奏でながら漕ぎ進み、鉾持たちが次々と船から飛び込む。この天王祭の車楽舟だんじりぶねの行事は、祭礼行事、風俗習慣として国の重要無形民俗文化財に指定されている。

○園内

夏季は噴水が稼働する。かつて水上交通の要衝だった天王川公園周辺は今は地域で暮らす人々の憩いの場所となっている。ウォーキングやランニング、景色や季節の花を愛でたり友達同士で遊んだり、芝生に寝転んだり、噴水で水を浴びたり…、時にはただただゆったりと時間が過ぎるのを楽しんだりと、公園を訪れる皆さんが思い思いの過ごし方をしている。



4 質疑応答

1. 天王川公園の整備前と整備後で集客数(来園数)は、どのように変化したか。

→ 目視になりますが、夏、冬を含め、年間を通じて、特に若者、家族連れの来園が増えました(自由に出入できる出入口が多数あるため、来園者の実数計測はしておりません)。

2. 整備後に、どのようなイベントを実施しているのか。また、市民の評判の良いイベントは、どのようなものか。

→ 藤まつりのライトアップの質が上がり、夜の来園者が大きく増えました。ゴールデンウィークに開催しているグリーンフェスタ(ステージイベント、ふわふわドーム、キッチンカー出店)が人気があります。

ランニングスクール、パークマラソンを定期的を開催しています。(指定管理者自主事業)

年間を通してイベント開催は少ないですが、芝生広場が整備されたことや造園会社が指定管理者の一員になり、草刈りや樹木の剪定等の頻度が増え、

公園がきれいに保たれていることが、好評です。

3. 天王川公園の指定管理者を決めるまでの工程、又は難しかった事。

→ 藤まつり、天王祭の一部を観光協会から指定管理者に運営移行する調整が大変でした。藤まつり、天王祭の収支が毎年マイナスであったので、観光協会は手放したいと常々言っていました。いざ移行することになると観光協会は不満を言ってきました。

4. 最初の予算設定通りに施工できたのか。総工費はどれくらいか。

→ 市の費用負担額は 7,200 万円です(全体事業費の9割以内)。当時は建設費高騰が問題になっていなかった。募集要項において、物価変動は民間事業者のリスク分担になっていた。市の費用負担が増えたことはありません。

5. 国、県の補助金の金額は。(市の財源は)

→ 市負担額 7,200 万円(国費 3,600 万円、起債 3,240 万円、一般財源 360 万円)

6. Park 内での「各施設配置」に関するメルクマールは事前にあったのか。あったとすれば、それはどのようなメルクマールか。

→ 公園利用者の利便性、施設間や施設とイベントの相乗効果、回遊性向上、景観への配慮を審査基準としました。

7. Park 内での「各施設配置」に関するメルクマールとして、「来園者が受ける印象」(ex.来園者が威圧感を受けるかどうか)はどの程度配慮されたか。

「来園者が受ける印象」は機能性、効率性に比較して、劣後するとお考えか。

→ 天王川公園が風致地区であること、藤まつり・天王祭の会場であること踏まえ、景観に配慮した施設配置、色彩、意匠を求めました。審査の配点は高くしました。

「来園者が受ける印象」を機能性、効率性に比較して、劣後するとの考えはありませんでした。

8. この事業の発案は首長主導なのか。

→ 市長の肝入りの事業です。

9. 指定管理費について、ランニングコストをどのように見積もったのか。

→ 市直営で管理していた時の各種維持管理を業務委託発注しており、直営時の過去3年分の実績額及び人件費の目安を募集要項の資料として公表しました。それを基に民間事業者がランニングコストを積算して、指定管理料を提案されました。



視察を終えて

委員長 村田 丈生

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

秦野の水道水は地下水、河川水を主な水源としており、地下水は取水場で取水した後、配水場へ、河川水は浄水場を経由し、県水は地下水とブレンドし配水場に蓄えられる。水道水は、水道法で塩素で消毒することが義務付けられており、水道水の中に塩素が含まれる量が多すぎるとカルキ臭が出てまじく感じる、その為、量の調整が大事である。

秦野盆地の地下水を、塩素で殺菌した後、製造過程で塩素を除き、ペットボトルに詰める、秦野の名水を市内外に PR すること、市民に非常用飲料水として備蓄してもらうことを目的に販売。

平成 21 年度、45,000 本、令和 6 年度 216,000 本市内外で販売。ネット販売等 2 割、1 本 80 円で卸す、販売価格においては、各販売店で決める。一部売上金を山等の保全にあて、循環型事業にしている。

わが市の水道水も PR の一つとして、又、管路の更新等の費用の一部として販売も考えてはどうか？

■愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園 Park-PFI 事業について】

天王川公園のサードプレイス（憩いの場）及び観光資源としての魅力向上を目的に Park-PFI 業務及び指定管理者業務を一体的かつ効果的・効率的に行う業者を選定するもの。

伝統ある尾張津島天王祭や尾張津島藤まつりが開催される公園である。土地の形状、歴史文化への配慮、祭りへのかかわり方等、市が求める提案条件は非常に厳しいものがあり、どの提案も公園の魅力向上を期待できる意欲的なものであった。

私の第一印象は、非常に綺麗な公園である、非常に大きな藤ノ木がある、その場に溶け込んだ大手飲食店がある等素晴らしい公園である。

この事業を導入後特に若者、家族連れの来園が増えた。

イベント開催については、指定管理者自主事業は多くはないが、芝生広場が整備されたことや造園会社が指定管理者の一員になり、草刈りや樹木の剪定等の頻度が増え、公園がきれいに保たれていることが好評であるとのことである。

わが市においても、民間の力の活用は非常に大事なのではないかと、導入することは大いにプラスになると思う。

副委員長 松 尾 一 生

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

秦野の水「丹沢の雫」は、環境省「名水百選選抜総選挙」により「おいしさが素晴らしい名水部門第1位」に選ばれた。実際に飲むと優しい口当たりでおいしい。地元の「くぐり川」（水が地下に浸潤した川）による地下水が大量にあることで、これを一旦塩素処理して、さらにそこから活性炭で塩素を取除く処理をしている。令和6年度には216,000本を販売し、72店舗で販売している。羽田空港や横浜のワールドポータスでも取り扱っている。まさに「秦野市民の誇り」である。

下松市は水道料金が全国屈指の安さであるが、下松の水「星の泉」のおいしさ向上にも焦点を当てて取組んでいくことで、さらに下松の水の評価が高まるのではないかと。今後、上下水道の老朽管更新対策が『経営戦略』で明らかにされる予定である。来たるべき上下水道料金の値上げが市民に受け入れられる要素として、「おいしい下松の水」に徐々にでも力を入れることを検討すべきではないかと。その点で、秦野の水「丹沢の雫」の取組は大いに参考になると考える。

■愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園Park-PFI事業について】

「天王川公園」は、天王川と佐屋川が廃川となってできた大池を囲む広大な公園だ。大正のころから徐々に公園整備が進められ、直近ではPark-PFIの手法を用いた整備公園整備が行われた。これに地元の篤志家の寄付が加わり、さらなる整備に弾みがついた。まさに「公民連携（PPP）」の典型的事例である。さらに、これをコーディネートした市職員の熱意も見逃してはならない。津島市ではその後、PFIの手法に経験値を得て、次々とPFIによる事業展開がなされている。

下松市では、恋路のプール建替えにPFIを用いるとの方針がされて久しい。また、笠戸島ハイツ跡地、笠戸旅行村、下松公園などの整備にPark-PFIの手法を用い得る可能性が充分にある。まずは恐れずに勇気とスピード感をもって一步を踏み出すこと。市役所の公民連携への熱量が市民の意識を高める。

第一歩の経験値がさらに公民連携を加速する。津島市の取組は下松市の今後の具体的実践に大いに示唆を与えるものだ。

委員 金 藤 哲 夫

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

環境省が名水百選 30 周年を記念して開催した「名水百選」選抜総選挙で秦野市のボトルウォーター「おいしい秦野の水～丹沢の雫～」が名水部門で 1 位に選ばれた。水道水！！下松市にも「星の泉」なる水道水ボトルがあるものの、全国的には認知されていない。こういった取り組みをしているのか等、視察を行った。

特筆すべきはまず、市役所前を流れる？河川にほとんど水が流れていない「水無川」と呼ばれている丹沢山系を背に、伏流水は豊富で、清らかな水を蓄えている。一般的に塩素を脱して加熱殺菌して販売し、地下水に戻している。はだのふるさと大使 前田栄作、山田和樹、LUNA SEA・真矢らなどをフルに活動。

1,442 万本年内出荷し、羽田空港ターミナルを始めコンビニ等でも販売している。また給水車をも配備し、東日本、阪神での震災にも（能登も）出動、救援活動を行なった！！下松市も安い、美味しい、安全をキャッチフレーズに果敢に挑戦してほしい。市役所庁舎の目の前に富士山がそびえ立つ。

■愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園 Park-PFI 事業について】

スターバックスを取り込み配慮した自然を生かした大型の公園。整備費用や指定管理へのスムーズな移行の手法、また公園整備の発想主は誰か？予算規模。

市長主導での整備事業と伺った。元々あった公園だが利用者も少なく閑散としていたが、スターバックス参入や野外ステージをも配し、好評を得ている様だ。ただ野外ステージも通常はコンサートやイベントは行なわれていない。（藤まつり等大きなイベントだけ）稼働率は低い様に見受けた。

住民は騒さい！！と苦情との事で今後の課題！！

藤の広場や藤のトンネルは見事であり一見の価値ある。

稼働率を上げる為にも付近住民の理解と協力は不可欠と言えよう。

委員 近藤 康夫

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

「おいしい秦野の水（丹沢の雫）」の謎に迫る！環境省の名水百選（選抜総選挙）で「おいしさが素晴らしい部門」受賞

まず、明治23年に、横浜市・函館市と同時に、日本初の自営水道としてスタートしたことに驚く。

「おいしさ」が素晴らしい名水部門で、全国第1位となった実績に基づき、ペットボトルが、216000本／年（R6年度）も売れていること。

取り扱い店舗が72カ所もあること。羽田空港ターミナル内直産館や横浜ワールドポーターズなどで、170円／本で販売されていることなどに感心した。

1本1円が丹沢の水源林に生かされているという地域貢献。

緑豊かな丹沢の山々が育んだ秦野の地下水がポイントとなるまろやかな軟水。

■愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園Park-PFI事業について】

整備前に比べて、特に若者や家族連れの出園が増えたとのことだが、私たちが訪れた時は、散歩（ウォーキング）をする人、又はペット（犬）を連れてのんびりと散策する人々を多く見かけた。

イベント用の野外ステージもあったが、何といても、スターバックスコーヒーの店舗が魅力。あとは、日本一の藤棚。

委員 斉藤 マリ子

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

秦野市はおいしい水の評価項目「観光地」「景観」「秘境地」「おいしさ」をみごとにクリアされて、環境省のおいしさがすばらしい「名水部門」の第1位に選ばれ、水道事業としてボトルウォーターとして、市内外の店舗などで販売しています。下松市の水も決して負けていない、おいしい水だと思いますので、今後、店舗とかに販売して水道事業を進めていただきたいと思います。

■愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園Park-PFI事業について】

天王川公園の整備は市長の思いが入っていて、藤を主軸に、ジョギングコース、野外ステージ、スターバックス、と市民のいこいの場所として整備されています。一番の感動は市民からの1億2,000万円の寄付です。市民が守っている天王川公園だと思いました。下松市も、笠戸島開発に市民の皆さんの寄付を募り、若者が集まる、いこいの広場ができると良いと思いました。

委員 永田 憲 男

■神奈川県秦野市（秦野市上下水道局）

【おいしい秦野の水の取組について】

今回は神奈川県秦野市の美味しい水の視察でした。私たちの生活にとって水は最も大切なものです。

私達はこれまで、水はいつでもあるものと認識しているようなところがありました。今や全国各地で水の供給に対し、様々な問題が生じています。人口減少や水の節水化などで各水道局の収益の減少が見られるようになりました。

反面、そうした中で水を安全に供給するには、多発する災害対策や復旧、管路の老朽化による更新に多くの費用が必要になっています。資金が限られている中、効率的かつ計画的な管路更新を行わなければならない事は、下松市が抱えている問題と同じです。

そんな中でも「おいしい秦野の水」の製造を立ち上げ事業を展開していました。

目的は市水道局のPR及び、災害時の備蓄品としての活用と兼ねて始められたとのことでした。

名水百選選抜総選挙においておいしさが認められた事により、いろんな所から問い合わせがあり、販売に至ったということでした。

自分の観念から外れた「水を売れる」という時代の流れと変化を感じるとともに、身近にあるものが財源につながる可能性を感じました。

利益としてはまだまだのようですが、これから先、広く販売できれば町の知名度も上がり、大きな財源になる可能性もあると考えました。

私どもの下松市は水源も豊富で災害も少なく、過去より水道料金を全国的にも安く供給してきました。

今後の課題として、老朽化した修復や色々な問題が生じた時、資金が必要

になります。費用の額等を考えた時、水道料金の見直しや、こういった秦野市のような政策も必要かと感じた。

■ 愛知県津島市（津島市役所・天王川公園）

【天王川公園Park-PFI事業について】

2日目は津島市の天王川公園を視察した。全国各地で市民が公園を求め中、天王川公園は色んな人々の提案により、津島市が誇る景勝地となったとのこと。

また天王川公園は町づくり再生の第一弾として、野外ステージやジョギングコースの整備、「スターバックスコーヒー」のオープンなどで魅力を高め市民から高く評価され、利用度が増え続けているとの事です。

中でも世界的に有名なスターバックスコーヒーの誘致に成功したことが、この公園の魅力を一層高める事になったような気がしました。

公園と合わせてコーヒーを飲みに行こうと言う魅力を感じます。

近郊の田布施や光などでも海を眺められる場所に、古民家を利用した体験施設や軽喫茶などがオープンし賑わっています。

出来れば下松の笠戸島や米泉湖などの公園にも同様の施設が誘致出来れば利用度も高まるような気がしました。

